京城新報

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙（一枚金二錢▲一ヶ月前金貳拾五錢▲三ヶ月前金貳圓▲六ヶ月前金四圓▲一ヶ月十三錢）
定價（金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢）
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金（一行金七十錢▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢）
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

電報の利用方に就て

（矢野逓務課長の談）

電報の利用方に關しては本年一月の頃重要を陳述する處ありしが今回更に其要點として左の數項を挙げよべし

△白紙の電報　海外歐文電報の如きは本文及發信人氏名は勿論受信人居所氏名の如きも一字毎に料金を課せらるるを以て發信人たるものは出來得る限り文字の省畧を必要とす此文字の省畧の一方法として白紙の電報なるものあり白紙の電報とは本文を記載せざる電報の事にして此電報を發出せむと欲する人は受信人以外に秘密を保ち得る點に於て頗る妙なりといふべし

△電報の無線配達　電報の着信紙は封緘して配達するを原則とすれども差出人の希望に依りては封緘せずして受信人に配達することを得べし此無線の電報を配達するときは受信人の家族又は同居者等に電文の内容を知らしむるを得るを以て受信人の不在の場合に於ては其代受者に右電文の内容を知らしめ即時受信人に報知を得せしむるの便宜あり、されば電文の内容にして他人に知らしむるも毫も差支なく且つ其の電文を一刻も早く受信人に知らしむる必要ある電報は無線配達の請求をなすを便利とす

△受信電報　重要なる電報又は緊急の人へ宛てたる電報等の受信人は其の電報の受信人に到達したる日時の報知を受けんと欲する場合頗る少なからざるべし斯る場合に於ては受信人の電報の指定をなすを必要とす然るときは電報の到着するとき受信人の家族又は同居者等に電文の内容を知らしむるを得るを以て受信人の不在の場合に於ては其代受者に右電文の内容を知らしめ即時受信人に報知を得せしむるの便宜あり、されば電文の内容にして他人に知らしむるも毫も差支なく且つ其の電文を一刻も早く受信人に知らしむる必要ある電報は無線配達の請求をなすを便利とす

△受信人に到達したる日時の報知を受ることを得へし其報知に要する料金は左の如し

「韓國内の受信報知料」

電報を以て報知を受くるとき（和文及歐文一通五拾錢）郵便を以て報知を受くるとき一通金錢

「日韓間電報の受信報知料」

電報を以て報知を受くるとき（和文一通六拾錢歐文一通壹圓五拾錢）郵便を以て報知を受くるとき一通參錢

「日本國内電報の受信報知料」

電報を以て報知を受くるとき（和文一通二十錢歐文一通二十五錢）郵便を以て報知を受くるとき一通拾錢

△郵便に依る電報の差出方　電信局所より遠き距離に在るもの又は夜遅く電報を發せんとするもの或は家族少數にして電信局所迄外出し難き事情ある者等は郵便により電報を差出すは頗る便宜なるべし此場合に於ては其封皮の表面に電報在中及「通信事務」と記載せらるべし然るときは其普通郵便料は無料となすことを得るのみならず右の郵便到着の際直ちに吏員に於て開披するに依り其電報の取扱を迅速ならしむるの便あり

△電報配達人へ電報の依託　何人にても返信料前納電報、局待電報、別便配達電報及解船紀達電報の配達を受けたるときは五分間以内は配達人を待たせ置き返信電報の差出方を依託するを得べし此場合には配達人には賴信紙を持たせ置くことを必要とするものは請求せらるべし但し料金の豫納を要するものは此方法によるを得ざるは勿論なり右の外猶は陳述したる點なからざるも他日更に詳述する所あるべし

●日露間の貨物連絡

日露南國線道の連絡輸送中、旅客に關する協定は既に成り、本月一日より輸送を開始したるが、滿韓會社は更に貨物輸送に付き露國政府と協定するの必要を認め目下現場は此等の用務を帶ひて、十五日大連發露國に赴けり元來完全なる連絡輸送は即ち直通輸送にして之を實行するが爲には、彼我の軌道廣狹同一なるを要するは論を俟たず、然るに彼の西比利亞並に東清線は五呎の最廣軌にして我が南滿線は四呎八吋半に過ぎざれば此點に於て彼我の理想的連絡は稍や困難なれども、露獨兩國の國境間に行はるゝ連絡法に依れば稍や此理想に近きものあるを以て此點も亦協定事項の一なるが已ひなくんば彼我の外故點たる長春に於て貨物の連絡輸送のみを協定するに止め七月初より實施する豫定なりと云ふ

●東京便り

（十二日發）

一三樓主人

先月來在京、今日は去る友人の紹介により三越呉服店を見しが、其中に特に「地方係」なる係を設け地方販賣を引受け居る實際を見、吾人は一度は驚き一度は地方人の福音と聞けるが如く今日の前にこの便利なる機關の備はれるを報道するも面白からんと存じ候。

地方販賣は米國に於て盛に行はるれど我國に於ては三越が其嚆矢にしてはや十四五年を經過せるが其發達の急激なる、我交通機關の夫と伴ふには相違なきも事務員の百二三十人を要する迄にこの事業の進歩せるには驚かざるを得ず候。

同店が毎日地方より注文書を受取ること千五六百通ある由、其範圍の全國的なるはいふまでもなく、同店の發達する小包をのみ取扱ふ駿河町郵便局の發送荷數が現に日本第一たる事實より推して、同店の地方注文を受くることの多きを證して餘りあり之を思はれ候。

地方からの注文は種々あり、學生用マントと實用學生靴と同一に荷造せられあり香水に洗粉と化粧箱なども注文を注文する目出度者もあり、洋傘とステッキを注文する夫婦連あり、千委百態、恰も身は日本人生活の縮圖を見るが如き感有之候要するに何でも注文せらるれば發送せらるゝ組織にて其整然たる實に驚愕に値し候。

同店が毎年二回全國の得意に無代にて配付する案内書は寫眞版入の美本なるが其數七万部を超ゆといふに至つては、其事業が如何に偉大するかを想像し易かるべく存候。吾人はこの數行の事實を報じこれ等を地方人士が消費組合と同じく利用せられんことを勧告す、先づ試みに案内書を請求あるべし、必ず得る所あらんと信じ申候。

春の韓京

左は大朝當地特派員山本桃州氏の韓京通信なり玆に轉載す

◎氷つめし南山の瀧いつしか解けて春

◎春四月猥りに論議の時にあらざれば今は多くを言はじ、雖て線陰結子の時を待たんのみ。

日本名物

第九十五席　邑井一講演

法城寺正弘（十七）

規「さうでございますか、もう親父のものは何にもありません　甚「然うかい、ウム、是れは立派な物だな、今日のは全く失せて世は一斉に春の光を浴び、ぬ、雖て花咲かんものは桃か李か、合邦とやらの黴雨に綻び初めんとするも矢張り關氣の勢にやあらん。

◎花曇り朧か月霞ぬものならん、統監會議の手の年越のいたづき、それにもませる、心病みながら今は所詮晴れやう様もなく疾く春雨一過の到らんを待つのみ。

◎日足寸尺延びて情眠漸く加はる、統監政治も亦之に似ずや、十旬統監政綱へらざるさへあるに内治を司ざる國家官は驕せて東都に統監附高等秘書官を務ひとの聲の外何事も聞ぬず、木内產業の守亦名古屋、福岡の共進會に事寄せて海を渡つた限り何時迄るべくもあらず、かくてこそ情眠も其の筈といはんとす

◎廿年一日の如く努めたるクローマー卿あつて新に英の埃及政治に當りたるにあらずや政は人なり制度形式は只影のみ。

◎獨り威を官邊に振ひたるも民心の向ふ所と知らざりし弗は巧に安南に於て敗れたるにあらずや、而も官邊に威なく民心離れたる統監政治その前途如何

◎合邦か非合邦か、予れ孰れを宜しとするかを知らず惰眠を覺醒せしむるは剰下の急務、機は既に熟しつゝあるを思はば、兩者自から判然すべし。

◎人あり經濟國係を云爲して局面の族關を否認す、然れども予は採らず、經濟國係は今にしても既に根本解決を告げざるべからず、散漫にして何等基礎なき財政は最も危險なり、況んや其の日暮しの彌縫策に於てをや、韓國の財政に於ける日本の保護は猶危險なりとす。

◎春四月猥りに論議の時にあらざれば今は多くを言はじ、雖て線陰結子の時を待たんのみ。

のは何にもありません　甚「然うかい、ウム、是れは立派な物だな、今日のは能く出來ました、一兩に買ひませう規「難有うございます、久振で一兩のれ金を頂かれます」悅んで一兩を懷中にして嬉しく喜んで歸つて來ると、母親が居ない　規「阿母さん、々々」と探して四畳半の座敷へ來て見ると驚くべし母親は首を吊つて死んで居る、驚いた規隨規「アレ阿母さん、何うなすつたんでございます、母親さん、何うなすつたんでございます」呼べど叫べど驚抜の売、もう身体が冷たくなつて居る、規隨は死骸を下へ下して早速隣近所の人に來て貰ひ、芝の姉の家へ使を遣ると姉のれみよも驚いて飛んで來る、姉と弟と兩人にて葬式の手筈を致します筆笥の抽斗に一通の遺書があつから、披いて見ると

一筆書遺し申候妾が此度死を決し候は餘の義には此なくれ身は父規安殿とは違ひ誠に無器用にて觀ながら愛憎が盡き申候夫れは御身が不勉强にて自然無器用となりたるにてはなく隨分出精勉强され候へ共まだ〳〵至らぬ所ありてにや父の半分にも惡らぬとは何たる腑甲斐なきことにて候か返ゐす〳〵も殘念千万のことに呉れる氣があるなら奮發して下されたく此れのみを頼み申し度他に云ふこと之れなく候

かしく

母より

規隨殿へ

としてある、規隨之れを見てワッと計りに泣き倒れたが「嗚呼々々我が身が無器用許かりで母様を殺したのか思へば〳〵勿体ない、れ母さん何うか勘忍して下さい」とさア是れから奮發して勉强したから腕前メキ〳〵と上達して父に勝る程の名人となり、諸大名より規隨へ注文のあること夥しい、忽ち又規安よりも人に名を知らるゝやうになつた、此規安の家へ、重次郎は預けられたが、規安に自分が母の自害の爲めに此位になつたのだと、常々教訓して居るので重次郎も、自分の母親が賊しい稼業をしたので人に賊しめられるのが殘念だと夫れは〳〵小供ながら一生懸命になれば少しは腕前も出來申すべし依て妾自害致して草葉の蔭より其身を護り申すべく以後は母と云ふ足手纏ひも無くなるわけなれば、一心の上にも一心になりて充分腕を磨かれたし若狭屋の御主人の御教訓も肝に銘じ決して〳〵怠れてはなりません若し其身が一人前以上の腕前にならなければ此母は草葉の陰でも浮みません何卒々々此母へ孝行をして候女の身にして理窟めいたること申すやうなれど人間の生來の器用無器用は致方なしとは申しながらたとへ愚鈍の性質なればとて發憤興起一生懸命になれば少しは腕前も出來申すべし依て妾自害致して草葉の蔭より其身を護り申すべく以後は母と云ふ足手纏ひも無くなるわけなれば、一心の上にも一心になりて充分腕を磨かれたし若狭屋の御主人の御教訓も肝に銘じ決して〳〵怠れてはなりません若し其身が一人前以上の腕前にならなければ此母は草葉の陰でも浮みません何卒々々此母へ孝行をして

廣告

酒銘白雪　釜山京町　灘屋　電三三一

世の多くの婦人は

子宮病の治療を誤て居ないか

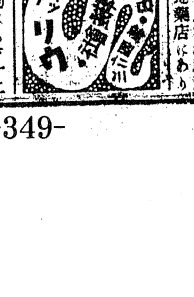
一概に子宮病と云ても其程度は極分多く從て治療法も種々あるが、一般婦人の自宅治療を見るに其だ勝手氣儘で、服藥は厭だの、洗滌は面倒だ、さし藥は困ると病根を考へ藥を適用せず、自己の都合より割出した藥物應用である爲めに内服藥の必要なる病狀に向て外用藥を用ひ、外用藥の必要に服用藥のみ、用ゆる矛盾の治療をして、子宮病の不治を嘆く婦人の多きは誠に殘念である、津村順天堂の自宅治療法は、藥万能主義でなく數十種の加減内服藥と數種の外用藥を以て婦人病の根治を保證するのであるが、今外用藥中將球と使用すべき諸症を國病患者に告白す幸ひに自己の症狀を考慮して本藥を用ゆれば必ず滿足なる結果を得べし、尚詳細を知らんと欲すれば詳しき容體を記して本舗津村順天堂へ申込れよ、

●中將湯は婦人病一切の内服藥にて中將球は子宮内膜炎とか白帶、赤帶、こしけ、子宮痙攣、子宮炎、子宮加答兒、腟炎、腟加答兒、子宮糜爛、子宮惡臭、子宮痙攣、尿意頻促、月經時の疼痛、痲毒性子宮病等に特効あり、殊に良夫の樂症に罹り居るものは痲毒園の爲め心付かざる内に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ

●不姙症と激產　子宮内膜炎の分泌物及び酸性の粘液は精蟲を害し不姙症を起し子宮の炎症は卵子發育を妨げ姙娠する能はざるなり若し多ければ中將球を使用して病根を斷つ事肝要なり

●中將球代價は、百二十個入五圓、四十五個入二圓、二十個入一圓、九個入五十錢、三個入二十錢、又た中將湯代價は二圓五十錢、一圓六十錢、五十錢、三十五錢、十錢等の各種なり

●本舗は東京日本橋通四丁目津村順天堂及び大阪大寶寺町堺筋南入津村順天堂支店にして販賣所は各地藥店にあり



電話一一二二番

志ぢやら

京城龍町　大槻商行貿部

金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず價物は叮嚀に取扱極めて安全に一定の場所に保管す

流質品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す

●襖並に表裝一式　勉强　材料販賣

龍山大島町　尾崎表具店

道後温泉

自宅で出來る道後湯

定價一圓十錢

明細書取次望みの方は一錢送れ

道後温泉強　伊豫國温泉郡道後湯之町

振替口座大阪二三六六東京六四四二番

今井神泉堂

消毒牛乳（保證附）

フレッシュバター（新鮮乳油）

韓國畜產株式會社

韓國大門外（電話八八番）

シガー、ブドウ酒、ブランデイー、洋菓子、果物カン詰類、シガレット、シヤンピン、ウヰスキー、キリンビール、タンサン

卸小賣

歐米雜貨洋酒食料品
洋煙草類金銀屬美術品

直輸入商

京城本町 二丁目 辻屋 本店電話二四八 支店電話三六六

東京電報

▲皇太子殿下御見學

皇太子殿下には本日御歩兵隊なる大垣戸田伯爵御出所官民の拝迎を受けさせられ特別列車にて御出発せられ境内御野立所にて親しく演習御見學わらせられたり(十八日夜着)

▲海軍の擴張計畫

昨年來風説の海軍擴張計畫は戰艦にして富士、周防、敷島、朝日、肥前、三笠、石目の諸艦は新式艦に比し甚しく劣り敵年を出すして海防艦に編入せられ着取、鹿島も之れ又既に舊式艦となり新艦薩摩並に未進水の安藝、河内、攝津あるのみにて將來造艦せらるべきは四十九年迄の繼續事業第三期擴張費額を以て新造せらるべき未起工艦一隻に過ぎず列國海軍擴張事件は著々進行しつゝあるを以て戰艦補充方法を講じ之に附隨すべき各種の造艦造具の計畫をなす特に焦眉の急なるは云よ迄もなし某海軍當局者は語れり(十八日夜着)

▲改良山砲の威力

新式野砲完成配備後當局者は山砲の改良に着手し三八式新砲徑を選定し昨年來大坂砲兵工廠にて鑄造中なりしが曩ほど試工し仙臺、岡山、久留米各大隊に十二門宛配置せるが野砲に等しく砲身、後座式にて其威力頗る卓越し我火砲は今や列强の認識する所となれり(同上)

▲歩兵銃拂下の方針

在郷軍人中日露戰役記念として三十年式歩兵銃拂下を出願する者多く之れ一面平時に於ける射撃奬勵となるを以て當局者は可成許可を與ふる方針なりと

▲能登大火と慰問使

能登國輪島町金城の軍天祭に達し慰問使を御差遣の御沙汰ありたり(同上)

▲愛國婦人會の總會

福岡支部第一回總會にて總裁閉院宮妃殿下より有効章を親授されしもの百六十四名ありたり(同上)

▲眞野同長の渡英期

日英博に文部省より派遣する眞野學務局長は五月十三日西比利亞線より渡英すべし(同上)

▲二次内債の決定

第二次内債は一億百八十萬圓と確定せり其の割當歩合は下請シンジケートと交渉の結果之が決定を松尾日銀總裁及高橋幹事に委嘱する事として兩氏は審議の上左の通り決定したり

一價格以上全部募入、二證券代用全部募入、三現金應募入、四五万圓未滿全部割當五萬圓以上十萬圓未滿は各五万圓割當十萬圓以上總べて半額

右申込中現金應募にして五萬圓未滿の分は申込額の全部を割當とする事に決定したるが小口應募は主として堅實なる新公債を所有するものなるを以て之等に對しては特に希望に應する等なり(十九日)

▲實業團の出發期

渡清實業團は來月五日下關出發に決定す

▲遭難艇と御下賜

六號潜航艇乗員の詳細天聽に達し遭難者に夫れ〳〵位階を追陞せられ又祭祀料御下賜の御沙汰あるべしと承はる

▲歩兵操典の發表期

鍵て教育統監部にて起草中なりし各操典改正は大に進捗し既に騎砲輜重の三操典の脱稿を見たれば來月上旬審査に附し同月二十二日發表せらるべし

紐育電報

▲タフト氏の放言

米國大統領タフト氏は再び候補者に立つの意なしと放言せり(十九日)

北京電報

▲爆彈犯人の逮捕

攝政王邸に爆烈彈を投擲したる犯人はコウフクセイと云へる革命黨員にして遂に逮捕されたり(十九日)

▲長沙暴動と列國

北京駐在の列國公使は長沙暴動益猛烈にして在留外人の被害多大なるを以て此れが鎮撫に關し北京政府に警告する處ありたり(同上)

▲北京政府の狼狽

北京政府は今回の長沙暴動事件に關し自國警察力を以て鎮撫する能はず所在の外國領事館及教會堂を燒失せしめ且つ在留外國人に危害を加へたる事に驚き大に狼狽し之れが善後策に苦心中なりと(同上)

上海電報

▲長砂の暴徒鎮定

長砂の暴徒愈々鎮定して支那店舗は何れも開店されたり(十九日)

雜報

外人と新三税額

▲外國人家屋税

度支部當局者調査に係る新三税額如左

納税者數三千三百二十八人課税家屋數四千六百五十五戸此の税額四千三百四十圓にして各財務監督局別を記すれば左の如し

局名	納税者數	課税家屋數	税額
	人	戸	圓
漢城	三三六	三三二	三三二
平壤	六九	六三	九三
大邱	一三六	一八六	一五一
全州	三〇九	三〇〇	四〇〇
元山	三〇九	三〇〇	四五二
公州	四〇八	六七	四五二
合計	三三六	四三〇	四三〇

雜報

●外國貿易上半期報

關税局調査に係る四月上半期即ち十五日迄の外國貿易左の如し

區別		金額
輸出品價額	内國產	五七七、八六七
	外國產	二七五、〇三三
	計	八五二、九〇〇
輸入品價額	内國產	一、一一四、四七三
	外國產	二六一、五七三
	計	一、一一四、四七三

輸入超過 一七、一二八

通貨物價額

△輸出重要品表

品名	金額
米	二〇七、〇二七
大麥及小麥	一七一、八九一
豆類	一七八、六四一
鮮魚	一三、九四五
乾魚及鹹魚	一九八一
鰹節	四、七七〇
鮑	四、七七〇
黑鉛	四六、五三六
牛皮	三、四七七

△輸入重要品表

品名	金額
小麥粉	七、五二九
食鹽	二三、八四〇
砂糖及精糖	一五、九二四
清酒	四、六五〇
麥酒及黑麥酒	六三九
石油	二七〇七
繰綿及打綿	五六、八五一
綿織糸	四六、八五一
生金巾シーチング	三八、二六八
晒金巾	四一、二八八
綿織子及綿イタリアンス	三八、三四四
日本木綿布	三三、五四三
麻布	一八、五四五
絹	二一、一八三
紙	七、七二三
鐵	一、二一八
杭條及同附屬品	四五、〇五一
鐵(筒及管)	五三、五二八
烟草	七、五七一
木材及板	二、〇四六
薪	一、二四六
セメント及石灰	一、一一三
マッチ	一、一一〇

△輸出入金銀貨及地金

區別	輸出額	輸入額
金貨及金地金	四七、三三	三三四
銀貨及銀地金	一、〇〇〇	一、〇〇〇
金銀以外の硬貨	七、一〇〇	三、〇〇〇
計	五八、六三二	三、三三四

●會計檢査官の一行

右川會計檢査官一行は十六、十八兩日は統監府の帳簿を檢査し十九日は韓許局、理事廳の檢査を爲し尚は京城及永登浦の新築工事を實地に檢査したるが以上にて統監府關係の檢査は滯りなく結了し廿日より司法廳の檢査を行ふ筈

●南大門外土地收用

南大門外(南山公園入口)を基點とし南大門停車場前(南大門郵便局)に至る間の南側路端より二十間通道路用地を收用終了する迄土地及地上物件の賣買典質及家屋其他工作物の新造等をなす事を禁止する旨内部告示を以て發表さる

●農銀の支配人會議

各道に於ける農工銀行の支配人會議は二十日より漢湖農工銀行樓上に開催の筈なるが當日は度支部より荒井次官、藤原銀行課長、阿部事務官等臨席の筈にて永官は一場の訓示演説を爲す筈

●咸南の教師講習會

咸鏡南道北青にては附近の各公私學校教師講習會を開催し學校管理法教授法等を講習したるが會員百四十名の多きに上り頗る盛にして各學校教授の統一上多大の効果を收めたりと云ふ

●宣教師の中學建設

全羅北道全州居住の某外國宣教師は數千圓を投じ全州門外に五十余坪の煉瓦造の校舎を新築し中學程度の教育を施

經濟小言

▲彌洲に於ける我吉長鐵道は來四十五年三月頃七十八哩の開通を見るべしと云ふ、思ふに該線の全通遠きに非ざるべく、吉會線の開通亦同樣なるべしと信ぜらる。

▲一方吉長、吉會の兩線完成し他方、安奉線の改築工事落成するに到らば滿洲に於ける我地歩は正に飛車角を成込ませたるに均とし。

▲飛車角を成込ませて適當に働かせば滿韓の經濟的開發は意の儘となるべし、其時にこそ移民集團の理想も行はれん、まづ夫迄は何事も辛抱が第一なり。

▲滿城手形組合の存在は今日に於て最早無意義となれり、過度時代に惹せる一時的機關は時代の變遷と共に存在を止むるか若くは變形の止む無きに至るものなり。

▲記者の見を以てすれば該組合は早晩信托會社的の者に變せざるべからず左無くして現狀を維持せんとするか徒らに政府貸下金の減額を見ると各取引銀行とに迷惑を掛るに止まることとなるべし。

▲何事ぞ該組合は昨今力を盡して新たに組合員の募集に勉む、之れ何の必要に因つて爲すか、度支部監督官たるものの組合前途の爲め一考を費して可なり。

●釜山民團の外費借入運動は今や立消となれり、否立消となさゞる可らざるに到れり、我帝國政府の對外資方針を知らずして如何に騒げばとて未は徒勞となるは當然なり、釜山民團たるもの借換に効を奏せんことを思はんより寧ろ不急の工事を節するに若かざるなり。

由なるが同校舎は殆んど落成したり

●種鶏の配布方法

農商工部は今般プリスマスロック名古屋コーチンの兩種鶏約二百羽を各郡市の附近に無料配布を爲したるが右種鶏より生たる種卵は一個五錢にて何人にも配布する筈

●法政新聞の招宴

昨年呱々の聲を上げたる法政新聞は今般高畑廣氏の經營に依りて發刊する事となりたるに付ては右披露の爲め十九日午後七時より

●外人と新三税額

度支部當局者調査に係る新三税額如左

▲外國人家屋税

納税者數三千三百二十八人課税家屋數四千六百五十五戸此の税額四千三百四十圓にして各財務監督局別を記すれば左の如し

局名	納税者數	課税家屋數	税額
	人	戸	圓
漢城	三三六	三三二	三三二
平壤	六九	六三	九三
大邱	一三六	一八六	一五一
全州	三〇九	三〇〇	四〇〇
元山	三〇九	三〇〇	四五二
公州	四〇八	六七	四五二
合計	三三六	四三〇	四三〇

●仁川近海は本月下旬より漁期に入ると共に海賊の横行するを常とするを以て之れが被害を未然に防ぐは刻下の急務となし十八日仁川水產會社より仁川商業會議所に右に關する建議書を差出したるが同會議所に於ては役員會に決議を經たる上其筋に稟申すべし

●海賊豫防に付申請

●龍山民團豫算認可

龍山民團より認可申請中なりしが十九日理事官より認可せられたりと云ふ

●共進會觀光團出發

京城日報主催名古屋、兩岡兩共進會觀光團は二十日午前九時南大門驛出發の筈にて見送り準備等盛に整ひ居りと

●會議所の豫算認可

京城商業會議所に於ける四十三年度の豫算は豫ねて認可申請中なりしが十九日理事官より認可せられたりと云ふ

●龍山民團豫算認可

龍山民團より認可申請中なりしが十九日理事官より認可せられたりと云ふ

●新溪郡農事講習會

黄海道新溪郡新興學校に於て三月二十七日より一週間農事講習會を開き大町海州種苗場技師を聘し農事上必要なる講習を爲したるが生徒は概ね三十歳以上四十歳の者にして内面長五名あり就中六十二歳なる老人が尤も熱心に講義を聞きたるは多くすべき事共なりと

●手形組合員の募集

滿城手形組合にては今回一般より組合員を募集する筈にて希望者は五月十五日以内に申込べしとの廣告を爲せり

●南大門外土地收用

南大門外(南山公園入口)を基點とし南大門停車場前(南大門郵便局)に至る間の南側路端より二十間通道路用地を收用終了する迄土地及地上物件の賣買典質及家屋其他工作物の新造等をなす事を禁止する旨内部告示を以て發表さる

●釜山民團の外費借入運動

釜山民團の外費借入運動は今や立消となれり、否立消となさゞる可らざるに到れり、我帝國政府の對外資方針を知らずして如何に騒げばとて未は徒勞となるは當然なり、釜山民團たるもの借換に効を奏せんことを思はんより寧ろ不急の工事を節するに若かざるなり。

●法政新聞の招宴

昨年呱々の聲を上げたる法政新聞は今般高畑廣氏の經營に依りて發刊する事となりたるに付ては右披露の爲め十九日午後七時より

●龍山民團豫算認可

龍山民團より認可申請中なりしが十九日理事官より認可せられたりと云ふ

●會計檢査官の一行

右川會計檢査官一行は十六、十八兩日は統監府の帳簿を檢査し十九日は韓許局、理事廳の檢査を爲し尚は京城及永登浦の新築工事を實地に檢査したるが以上にて統監府關係の檢査は滯りなく結了し廿日より司法廳の檢査を行ふ筈

●南大門外土地收用

南大門外(南山公園入口)を基點とし南大門停車場前(南大門郵便局)に至る間の南側路端より二十間通道路用地を收用終了する迄土地及地上物件の賣買典質及家屋其他工作物の新造等をなす事を禁止する旨内部告示を以て發表さる

●農銀の支配人會議

各道に於ける農工銀行の支配人會議は二十日より漢湖農工銀行樓上に開催の筈なるが當日は度支部より荒井次官、藤原銀行課長、阿部事務官等臨席の筈にて永官は一場の訓示演説を爲す筈

●咸南の教師講習會

咸鏡南道北青にては附近の各公私學校教師講習會を開催し學校管理法教授法等を講習したるが會員百四十名の多きに上り頗る盛にして各學校教授の統一上多大の効果を收めたりと云ふ

●宣教師の中學建設

全羅北道全州居住の某外國宣教師は數千圓を投じ全州門外に五十余坪の煉瓦造の校舎を新築し中學程度の教育を施

經濟小言

▲彌洲に於ける我吉長鐵道は來四十五年三月頃七十八哩の開通を見るべしと云ふ、思ふに該線の全通遠きに非ざるべく、吉會線の開通亦同樣なるべしと信ぜらる。

▲一方吉長、吉會の兩線完成し他方、安奉線の改築工事落成するに到らば滿洲に於ける我地歩は正に飛車角を成込ませたるに均とし。

▲飛車角を成込ませて適當に働かせば滿韓の經濟的開發は意の儘となるべし、其時にこそ移民集團の理想も行はれん、まづ夫迄は何事も辛抱が第一なり。

▲滿城手形組合の存在は今日に於て最早無意義となれり、過度時代に惹せる一時的機關は時代の變遷と共に存在を止むるか若くは變形の止む無きに至るものなり。

▲記者の見を以てすれば該組合は早晩信托會社的の者に變せざるべからず左無くして現狀を維持せんとするか徒らに政府貸下金の減額を見ると各取引銀行とに迷惑を掛るに止まることとなるべし。

▲何事ぞ該組合は昨今力を盡して新たに組合員の募集に勉む、之れ何の必要に因つて爲すか、度支部監督官たるものの組合前途の爲め一考を費して可なり。

●釜山民團の外費借入運動は今や立消となれり、否立消となさゞる可らざるに到れり、我帝國政府の對外資方針を知らずして如何に騒げばとて未は徒勞となるは當然なり、釜山民團たるもの借換に効を奏せんことを思はんより寧ろ不急の工事を節するに若かざるなり。

●法政新聞の招宴

昨年呱々の聲を上げたる法政新聞は今般高畑廣氏の經營に依りて發刊する事となりたるに付ては右披露の爲め十九日午後七時より

●種鶏の配布方法

農商工部は今般プリスマスロック名古屋コーチンの兩種鶏約二百羽を各郡市の附近に無料配布を爲したるが右種鶏より生たる種卵は一個五錢にて何人にも配布する筈

●龍山民團豫算認可

龍山民團より認可申請中なりしが十九日理事官より認可せられたりと云ふ

●共進會觀光團出發

京城日報主催名古屋、兩岡兩共進會觀光團は二十日午前九時南大門驛出發の筈にて見送り準備等盛に整ひ居りと

●會議所の豫算認可

京城商業會議所に於ける四十三年度の豫算は豫ねて認可申請中なりしが十九日理事官より認可せられたりと云ふ

●龍山民團豫算認可

龍山民團より認可申請中なりしが十九日理事官より認可せられたりと云ふ

●新溪郡農事講習會

黄海道新溪郡新興學校に於て三月二十七日より一週間農事講習會を開き大町海州種苗場技師を聘し農事上必要なる講習を爲したるが生徒は概ね三十歳以上四十歳の者にして内面長五名あり就中六十二歳なる老人が尤も熱心に講義を聞きたるは多くすべき事共なりと

●手形組合員の募集

滿城手形組合にては今回一般より組合員を募集する筈にて希望者は五月十五日以内に申込べしとの廣告を爲せり

諸看板製作　油繪肖像畫●硝子金文字入ペンキ塗工事大小蛍光看板　永楽町二丁目　赤門通り　椹野工舎

名妓洗髪のれ妻（三）

▽調子を脱すへマ藝者

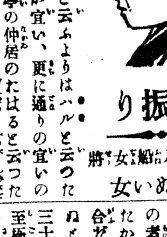
▽貰れたのが身の不運

人の運不運といふものは、實に分らぬものですね、何が不運の元になるやらぬ私は今考へて見ると、私の披露目が既に斯んな樣子で、奈良原さんの御引立で一夜の中に上流の方々に名匠愚になり、た最負になるやうな事になりました、中年ものゝ私、素人の**娘一通**の藝は何でも教はりましたものゝ藝者に仕込まれたのぢや無ものですから三味なぞは十分ぢやありません**調子を脱すへマ藝者**だものですから私は口先一つで座敷を持て見やう、ヂャン〳〵糸を掻き鳴らしてのみゐるが藝者ぢやあるまい、と勝手な熱を吐いてゐましたよ▲桝田屋では姉さん株のねやまさんなどが中々私を引立てゝ呉れましたし、女將さんが又豪者、十分仕度い放題な真似をしてあの身代をヒリ付かさぬといふ人で、日本人なんかは馬鹿〳〵しい西洋人のれ金のある奴さんをといふ道方の女ですが、隨分私などは仕込れました、上には斯なに御師匠さんが付いてゐて、又御最負になるのが奈良原さん初**上流**の方々でしたから**貰れ**ましたね、私は毎晩毎晩れ茶でも引いてゐたら或ひは國へ歸へることが出來て堅氣にもなれたんでせうが貰れるに附けては自分から**面白**くなるので、ツイ斯んなれ妻といふ得体の知れぬ女が出來上つた譯です、人間萬事塞翁の馬とか云ひますね藝者稼業をしてゐながら貰れたが此の身の不運たわ知らなんだ……此れは一寸市村が假聲ですよオホ、〳〵御免なさい▲其んな樣子でしたので私は間も無く日吉町へ**花の家**れ妻で自前になりましたが、此時分には私の名が世間に知れるに附け、國の方へも其れ〳〵知れましたもの〳〵國ではれつきも濟れぬ先なら我の下馬にもソット心も置かうが、濟れかゝつた袖だ捨てゝ置けとて頻念めて了ひまして、其の後は勘當同然、ハタと**消息**も**絶**えて了ひました、藝者になつてゐるだけに、男とは違ひ**紙子姿**にもなりませんで、ツイ放心と事してゐました▲話は飛びますが、三十一年に國で小森とて叔父の家では老夫婦とも年には勝てず身体が崩り込みますに附け、私と**妹**のせすとを引纏めて引取らうといふ事になりましたますはますで例のたよねと一緒に、私とは別に暮らしてゐましたが、矢張泥水稼業花の家**小奴**と云つてました……ものですから、國では姉妹共藝者をしてゐるのだから、其儘國へも引取れぬ京都で一家を構へてやらうといふ事でして、小森の叔父が東京へ來やうといふ前々夜、風邪を引いてドット床に着きましたが、當時は撰擧運動が喧しく叔父が病氣は偽病だとか何か面倒な事が起りまして、聞かぬ氣の叔父は病を押して投票に出かけ門の處で心臓痲痺コロリと亡くなりましたので、又もや私は足を洗ふ事が出來ず終ひ、貴雄に云れたやう、矢張今に鏡を見るやうな斯な稼業をしてをりますわ

日本土産の暴言

▽宮内府動物園部長……

十八日午後九時頃る附きの韓人高樂紳士が一人の韓人車夫を同行し其の嚴命方を西部警察署詰合の警官に請求し出でたるより取り敢へず事情を取り訳したるに右高樂韓人と云ふは昌德宮御苑事務局動物園部長劉漢性と云ひ葵任官三等一般俸を頂戴せるものにて其の車夫と云ふは西部鑒松坊錦三居李光村（三七）に云ふは西部警察署に同園事の起りと云へば劉氏は曩きに同園事務視察の爲め日本に出張を命ぜられたるが愈日に至り愛伴終了したるを以て同日隨行員某と共に西大門驛に歸着下車後同構内の車夫三名と自宅なる昌德宮前迄各三十錢に契約を取り極め手傳物等とも取り乗せたる車夫中の一名即ち光村は四十錢ならでは應し難しと言ひ出し他の三名も此れに雷同して異議を唱へ出したるより然らは面倒なりとて契約を破毀し私み數せたる荷物を取り下さんとしだ際誤つて提灯の釣鐘を切りたるに光村は之れに對して又もや不當の賠償を迫りて止まざるにて劉氏に赫となり汝は眞正の車夫には あらざるべし鑒札を見せよ迫より其の此れを所持せざるを確しかめたるより犯則者として所罰あり たしと云ふに あり此れを光村に渡くに鑒札を所持せざるは友人の車夫より那情あり同日一日丈け代理を頼まれたるものなれば事實なるも三十錢の既約賃金を四十錢に値上げしたるに非ず又提灯の損害も不當の賠償を要求せし覺わなし然るに此の兩班は自分等に對し我れは只今日本を視察して歸來したるものなるが日本には決して汝等如きチョン髷頭の馬鹿車夫は居らず杯紳士にある間敷日本土産の暴言を放ちたり然れば我等も一二言反駁したるも并は寶言業に買言葉深き理由の有りてには非ずと理窟丈けは一人前の負けず劣らず云ひ募



女振り

熊田ぬいと云ふよりはハルと云つた方が通りが宜い、更に通りの宜いの方は元清華亭の仲居のハルと云つた方が宜いのである、豪然志を立てゝ渡韓したのは殿雲東亞の天地を單めたる明治三十七年は八月の交、便船に搭乘して仁川に上陸したのだが其の時分の同港は黄金の雨に霑ふて居たのである、呉禮堂の山の手の大厦も、桑野君の飛龍里の別墅も、秋田君の大家屋も、郡君の夫れも悉く此の雨の降かせた花の實である、此の時代のぬい女の活動は凄まじいものであつた、無論秋田君や桑野君やの成功に比べたら屑ではないが身分相當の成功をしたのであつた、何んで其の成功したれぬいのれは君が三十九年に至つて清華亭の仲居とならねばならぬ如に立ち至つたかと云へば、并は曰く云ふ可らずである、古人言はずや「新らしい憂も叩けば埃が出る」と、出さずともの埃を出すのは智慧のない話しである、れぬい君の自慢は情人がないと云ふことで男は寡ろ嫌いの方である相だ、併し此れは女振りの保證の限りでない、嘸當人の れ話しを話しとして取次いで遣く、一つ此所に心配なのはれぬいのれはる君が本年三十三の厄年であることである、御要心は其方で充分に注意して呉れ給へ

法學士の無銭飲食

▽實は辯護士の食客事務員

▽三十八錢の代に羽織一枚

赤門通りの五錢屋と云へば誰れ知らぬ者もなき安値に杯一茶する事の出來る肉屋であるが此の安い店でも猶は勘定が なくて加之に暴言をするものあり何方が如何とも云へぬ始末に双方說論の上引取らしめたりとは記者にも何方が如何とも判らず

▽三十八錢の代に羽織一枚

赤門通りの五錢屋と云へば誰れ知らぬ者もなき安値に杯一茶する事の出來る肉屋であるが此の安い店でも猶は勘定が なくて加之に暴言をするものあり

日の出町の血煙り

▽中の新地建築者切腹

▽工事金を呉れぬが爲

昨十九日午後二時頃當地日の出町小學校下愛媛縣人大北新方に於てナイフを以て制腹したる樣事あり今其模樣を聞くに南米倉町居留大工職永沼貞吉（三）と云へるは吉野町**中の新地**の新築工事を其**受負人**たる旭町**森**元次郎より下受けして工事を終はりしに其**受負額**の中七千圓を森より支拂はざるにぞ永沼は屢々森に對して支拂はざるにぞ永沼は屢々森に對して**催促**すると雖ども更に**支拂**ふては所々の支拂差支へ債鬼四方より攻掛るにぞ殆ど**困**し**果**て前記の如き九日午後二時頃酒醉して右工事の周旋人たる大北新方に至り最早此上は生きて居ても人間の樣に成れぬ此の上は死んで了へと云ふ事にて**景氣**も**無**く然るに一方永沼に於ては所々の支拂差支へ債鬼四方より攻掛るにぞ殆ど**困**し**果**て前記の如き好きにて行狀兎角絶らざるより兄の壁伍は痛くも之れを憂ひ一昨日折りも折と前記在成が他より喧嘩を爲して歸宅せしが俄しく將來を戒めたるを在

火の海の統監邸

▽格別の損害はなし

十八日午後八時三十分頃統監邸をアワヤ烏有に歸せしめんとしたる一大椿事あり今其模樣を報道せんに同邸に引込める電燈及電話の兩線如何にしけん密

日本土産の暴言

▽宮内府動物園部長……

十八日午後九時頃る附きの韓人高樂紳士が一人の韓人車夫を同行し其の嚴命方を西部警察署詰合の警官に請求し出でたるより取り敢へず事情を取り訳したるに右高樂韓人と云ふは昌德宮御苑事務局動物園部長劉漢性と云ひ葵任官三等一般俸を頂戴せるものにて其の車夫と云ふは西部鑒松坊錦三居李光村（三七）に云ふは西部警察署に同園事の起りと云へば劉氏は曩きに同園事務視察の爲め日本に出張を命ぜられたるが愈日に至り愛伴終了したるを以て同日隨行員某と共に西大門驛に歸着下車後同構内の車夫三名と自宅なる昌德宮前迄各三十錢に契約を取り極め手傳物等とも取り乗せたる車夫中の一名即ち光村は四十錢ならでは應し難しと言ひ出し他の三名も此れに雷同して異議を唱へ出したるより然らは面倒なりとて契約を破毀し私み數せたる荷物を取り下さんとしだ際誤つて提灯の釣鐘を切りたるに光村は之れに對して又もや不當の賠償を迫りて止まざるにて劉氏に赫となり汝は眞正の車夫には あらざるべし鑒札を見せよ迫より其の此れを所持せざるを確しかめたるより犯則者として所罰あり たしと云ふに あり此れを光村に渡くに鑒札を所持せざるは友人の車夫より那情あり同日一日丈け代理を頼まれたるものなれば事實なるも三十錢の既約賃金を

子を脱すへマ藝者

▽貰れたのが身の不運

人の運不運といふものは、實に分らぬものですね、何が不運の元になるやらぬ私は今考へて見ると、私の披露目が既に斯んな樣子で、奈良原さんの御引立で一夜の中に上流の方々に名匠愚になり、た最負になるやうな事になりました、中年ものゝ私、素人の**娘一通**の藝は何でも教はりましたものゝ藝者に仕込まれたのぢや無ものですから三味なぞは十分ぢやありません**調子を脱すへマ藝者**だものですから私は口先一つで座敷を持て見やう、ヂャン〳〵糸を掻き鳴らしてのみゐるが藝者ぢやあるまい、と勝手な熱を吐いてゐましたよ▲桝田屋では姉さん株のねやまさんなどが中々私を引立てゝ呉れましたし、女將さんが又豪者、十分仕度い放題な真似をしてあの身代をヒリ付かさぬといふ人で、日本人なんかは馬鹿〳〵しい西洋人のれ金のある奴さんをといふ道方の女ですが、隨分私などは仕込れました、上には斯なに御師匠さんが付いてゐて、又御最負になるのが奈良原さん初**上流**の方々でしたから**貰れ**ましたね、私は毎晩毎晩れ茶でも引いてゐたら或ひは國へ歸へることが出來て堅氣にもなれたんでせうが貰れるに附けては自分から**面白**くなるので、ツイ斯んなれ妻といふ得体の知れぬ女が出來上つた譯です、人間萬事塞翁の馬とか云ひますね藝者稼業をしてゐながら貰れたが此の身の不運たわ知らなんだ……此れは一寸市村が假聲ですよオホ、〳〵御免なさい▲其んな樣子でしたので私は間も無く日吉町へ**花の家**れ妻で自前になりましたが、此時分には私の名が世間に知れるに附け、國の方へも其れ〳〵知れましたもの〳〵國ではれつきも濟れぬ先なら我の下馬にもソット心も置かうが、濟れかゝつた袖だ捨てゝ置けとて頻念めて了ひまして、其の後は勘當同然、ハタと**消息**も**絶**えて了ひました、藝者になつてゐるだけに、男とは違ひ**紙子姿**にもなりませんで、ツイ放心と事してゐました▲話は飛びますが、三十一年に國で小森とて叔父の家では老夫婦とも年には勝てず身体が崩り込みますに附け、私と**妹**のせすとを引纏めて引取らうといふ事になりましたますはますで例のたよねと一緒に、私とは別に暮らしてゐましたが、矢張泥水稼業花の家**小奴**と云つてました……ものですから、國では姉妹共藝者をしてゐるのだから、其儘國へも引取れぬ京都で一家を構へてやらうといふ事でして、小森の叔父が東京へ來やうといふ前々夜、風邪を引いてドット床に着きましたが、當時は撰擧運動が喧しく叔父が病氣は偽病だとか何か面倒な事が起りまして、聞かぬ氣の叔父は病を押して投票に出かけ門の處で心臓痲痺コロリと亡くなりましたので、又もや私は足を洗ふ事が出來ず終ひ、貴雄に云れたやう、矢張今に鏡を見るやうな斯な稼業をしてをりますわ

日本土産の暴言

▽宮内府動物園部長……

十八日午後九時頃る附きの韓人高樂紳士が一人の韓人車夫を同行し其の嚴命方を西部警察署詰合の警官に請求し出でたるより取り敢へず事情を取り訳したるに右高樂韓人と云ふは昌德宮御苑事務局動物園部長劉漢性と云ひ葵任官三等一般俸を頂戴せるものにて其の車夫と云ふは西部鑒松坊錦三居李光村（三七）に云ふは西部警察署に同園事の起りと云へば劉氏は曩きに同園事務視察の爲め日本に出張を命ぜられたるが愈日に至り愛伴終了したるを以て同日隨行員某と共に西大門驛に歸着下車後同構内の車夫三名と自宅なる昌德宮前迄各三十錢に契約を取り極め手傳物等とも取り乗せたる車夫中の一名即ち光村は四十錢ならでは應し難しと言ひ出し他の三名も此れに雷同して異議を唱へ出したるより然らは面倒なりとて契約を破毀し私み數せたる荷物を取り下さんとしだ際誤つて提灯の釣鐘を切りたるに光村は之れに對して又もや不當の賠償を迫りて止まざるにて劉氏に赫となり汝は眞正の車夫には あらざるべし鑒札を見せよ迫より其の此れを所持せざるを確しかめたるより犯則者として所罰あり たしと云ふに あり此れを光村に渡くに鑒札を所持せざるは友人の車夫より那情あり同日一日丈け代理を頼まれたるものなれば事實なるも三十錢の既約賃金を

日の出町の血煙り

▽中の新地建築者切腹

▽工事金を呉れぬが爲

昨十九日午後二時頃當地日の出町小學校下愛媛縣人大北新方に於てナイフを以て制腹したる樣事あり今其模樣を聞くに南米倉町居留大工職永沼貞吉（三）と云へるは吉野町**中の新地**の新築工事を其**受負人**たる旭町**森**元次郎より下受けして工事を終はりしに其**受負額**の中七千圓を森より支拂はざるにぞ永沼は屢々森に對して支拂はざるにぞ永沼は屢々森に對して**催促**すると雖ども更に**支拂**ふては所々の支拂差支へ債鬼四方より攻掛るにぞ殆ど**困**し**果**て前記の如き九日午後二時頃酒醉して右工事の周旋人たる大北新方に至り最早此上は生きて居ても人間の樣に成れぬ此の上は死んで了へと云ふ事にて**景氣**も**無**く然るに一方永沼に於ては所々の支拂差支へ債鬼四方より攻掛るにぞ殆ど**困**し**果**て前記の如き好きにて行狀兎角絶らざるより兄の壁伍は痛くも之れを憂ひ一昨日折りも折と前記在成が他より喧嘩を爲して歸宅せしが俄しく將來を戒めたるを在

子姿

にもなりませんで、ツイ放心と事してゐました▲話は飛びますが、三十一年に國で小森とて叔父の家では老夫婦とも年には勝てず身体が崩り込みますに附け、私と**妹**のせすとを引纏めて引取らうといふ事になりましたますはますで例のたよねと一緒に、私とは別に暮らしてゐましたが、矢張泥水稼業花の家**小奴**と云つてました……ものですから、國では姉妹共藝者をしてゐるのだから、其儘國へも引取れぬ京都で一家を構へてやらうといふ事でして、小森の叔父が東京へ來やうといふ前々夜、風邪を引いてドット床に着きましたが、當時は撰擧運動が喧しく叔父が病氣は偽病だとか何か面倒な事が起りまして、聞かぬ氣の叔父は病を押して投票に出かけ門の處で心臓痲痺コロリと亡くなりましたので、又もや私は足を洗ふ事が出來ず終ひ、貴雄に云れたやう、矢張今に鏡を見るやうな斯な稼業をしてをりますわ

日本土産の暴言

▽宮内府動物園部長……

十八日午後九時頃る附きの韓人高樂紳士が一人の韓人車夫を同行し其の嚴命方を西部警察署詰合の警官に請求し出でたるより取り敢へず事情を取り訳したるに右高樂韓人と云ふは昌德宮御苑事務局動物園部長劉漢性と云ひ葵任官三等一般俸を頂戴せるものにて其の車夫と云ふは西部鑒松坊錦三居李光村（三七）に云ふは西部警察署に同園事の起りと云へば劉氏は曩きに同園事務視察の爲め日本に出張を命ぜられたるが愈日に至り愛伴終了したるを以て同日隨行員某と共に西大門驛に歸着下車後同構内の車夫三名と自宅なる昌德宮前迄各三十錢に契約を取り極め手傳物等とも取り乗せたる車夫中の一名即ち光村は四十錢ならでは應し難しと言ひ出し他の三名も此れに雷同して異議を唱へ出したるより然らは面倒なりとて契約を破毀し私み數せたる荷物を取り下さんとしだ際誤つて提灯の釣鐘を切りたるに光村は之れに對して又もや不當の賠償を迫りて止まざるにて劉氏に赫となり汝は眞正の車夫には あらざるべし鑒札を見せよ迫より其の此れを所持せざるを確しかめたるより犯則者として所罰あり たしと云ふに あり此れを光村に渡くに鑒札を所持せざるは友人の車夫より那情あり同日一日丈け代理を頼まれたるものなれば事實なるも三十錢の既約賃金を

美術半襟帶締其他紐類各種 京城明治町一丁 電話一千四百〇九 ふり徳商店

廣告

營業品目
琴、三味線、尺八
洋琴、鐵琴、横笛
月琴、明笛
三味線、張替修繕並に小道具類は特に大勉強
米川三味線店 京城三丁目（本町五丁目郵便ポスト前）

◎プアイオリンに越味を有する諸士は來り會せよ
本會は常に正則と熱心とを以て懇切に教授す（但日曜祭日を除き）
普通科 毎日午後一時より同五時まで
速成科 隔日午後六時より同十時まで
京城旭町二丁目（名古屋城上鎮島邸下）
京城音樂講習會 教師 勳七等 淺井秋水

移轉擴張
今般左記へ移轉し從來の業務一層確實且つ迅速を旨とし貴需に應じ可申候
京城本町一丁目（民團役所前）
代理 仲介 測量 書
衛藤事務所 主任 衛藤遠（電話七〇五番）

生徒募集
和洋裁縫、造花、盆石、茶の湯、生花、御料理、即席及普通教授
右親切丁寧を旨とし教授致候御出相成度候方は出教授仕候
寄宿舍の設備も有之又造花材料も御注文申候
龍山老松町六十七番戸龍山橋通取次電話一一九番
佐藤セキ
五島チカ

神戸資生分院
京城梅毒病院
京城相生町（南門湯横）
◎花柳病專門並に痔（注射療法）
●入院隨意●
院長 醫學得業士 薗田幹平（電話一二九四）

早稲田大學講義錄
高等國民教育 政治經濟科 法律科 文學科
第壹號 發行
早稲田中學講義
早稲田商業講義
見本つき規則無代送呈
東京牛込早稲田 淇論東京一一三〇
早稲田大學出版部

●新學年校外生募集
高等國民教育
（壹年修了）
五月初旬壹號發行
現下の社會は皮相的革新期を過ぎ漸次徹底的革新期に移らんとする機運に向かって進みつつあり此時に方り社會の優勝劣敗は實に今日の新智識に在て之を決するの秋に臨みたるを思ふ
根本的智識は敗者に努めて頭腦の改造を防がざるべからず
實力智識は敗者に努めて頭腦の改造を防がざるべからず
新智識は敗者に努めて頭腦の改造を防がざるべからず
活動家として缺くべからざる急務
常識と共に供給して普汎なる
激甚優勝劣敗の現代に在て
教育機關たり特に本學年は左記正課講義の外に諸名家の演述に係る
課外講演を毎月一回無料配付を爲し正課と相
者は養成せんとす
本講義錄は一年間の人間及國際
義錄は一年間の人間及國際
義錄は一年間の人間及國際